

# 緩和ケア病棟の見学を行いました！



先日、「ちえのわ」（がん患者・家族のための情報提供支援事業）の方たちが、緩和ケア病棟の見学に来られました。その時の様子を紹介しながら、改めてこの場で緩和ケア病棟について、皆さんに知っていただけたらと思います。

## ●「ちえのわ」とは？

NPO法人、市民と共に創るホスピスケアの会が主催する、がん患者・家族のための情報提供支援事業の名称です。『がんと診断された患者さんが、納得して主体的に療養生活を送れるよう、より豊かな人生をすごせるよう、知（ち）識を蓄え、知恵をつけ、笑（え）顔で支えあいの輪（のわ）を広げましょう』から、「ちえのわ」と由来しています。

## ●緩和ケア病棟ってどんなところ？

緩和ケア病棟とは、がん患者の身体的、精神的苦痛の緩和を最優先し、がんを治すための手術や化学療法などの治療は行わず、その方らしい時間を家族とともに過ごすことを目指した病棟です。

## ●見学会ではどんなことが行われたの？

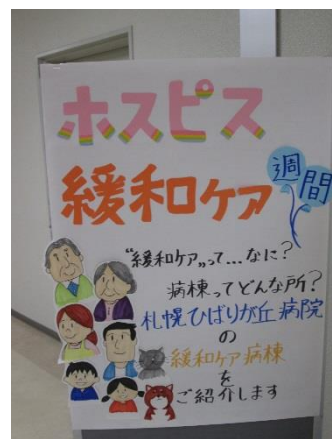
見学会には7名の方が参加され、高橋院長の挨拶と緩和ケア病棟について説明が行われました。その後、緩和ケア外来と病棟の見学を行いました。参加者は、がん患者様、がん患者を身内にもたれるご家族様、がん患者のご遺族様などでした。見学終了後、入院中に誕生日を迎えられた患者様に提供されるバースデーデザートを試食後、看護師や理学療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカーとの交流会を行いました。

交流会では、がん患者やがん患者を身近に持つ方の生の声を私たちも聞くことができました。参加者同士も自らの経験や思いを話し合うことで情報交流の場となり、これからの生活への力を得る機会になったようです。

## ●最後に

交流会の中で、緩和ケア病棟に入院したらもう退院できないの？などの質問も聞かれましたが、そんなことは決してありません。その人その人の状態に合わせて、痛みなどの苦痛のコントロールができれば、再び自宅での生活を続けるために戻られる場合もあります。今回の見学会を通して、一般の方の緩和ケアへのイメージ、不安や疑問等に触れる事ができ、私たちにとりましても大変学びの多い見学会となりました。

すべてをここでは紹介できませんが、緩和ケアについて、わからないことや気になる事がありましたらいつでも当院スタッフにご相談下さい。



- 緩和ケア週間（2017年10月8日～14日）に1階フロアに緩和ケアについてパネル展示を行いました。